

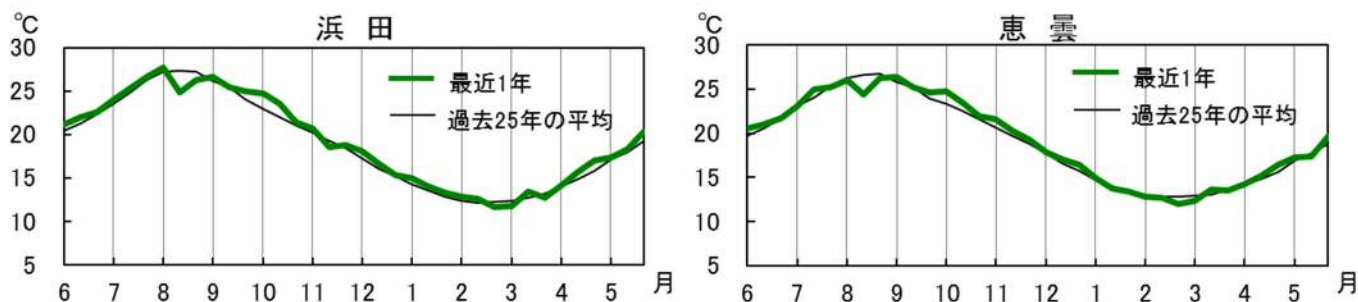


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

## 《5月の海況》



5月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	平年並み	18.7°C	+0.5°C	平年並み	18.1°C	+0.2°C
中旬	平年並み			平年並み		
下旬	かなり高め			やや高め		

## 《5月の漁況》

### 【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サバ類主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年並み、サバ類は平年の5割でした。隠岐地区ではマイワシ、サバ類、マアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は113.4トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは5,487トンで平年の3.1倍、サバ類は5,035トンで平年の7.3倍、マアジは3,007トンで平年並みでした。

### 【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではスルメイカ（全体の89%）が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は269.4kgで平年を上回りました。西郷地区（属人5トン以上）ではスルメイカ（全体の100%）が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は146.5kgで平年並みでした。

### 【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではキダイ、アカムツ、マトウダイが主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は11.1トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、キダイは平年の2.3倍、アカムツは平年の2.0倍、マトウダイは平年の2.1倍でした。その他、マダアイは平年の1.7倍、スルメイカは平年の1.2倍、アンコウ類は平年の1.1倍と好調でしたが、アナゴ・ハモ類は平年の9割、ソウハチは平年の8割、ケンサキイカは平年の7割、ムシガレイは平年の5割の水揚げでした。

### 【小型底びき網漁業】

大田地区（和江・久手）ではソウハチ、アンコウ類、ニギスが主体の漁況で、総漁獲量は242トンでした。1統1航海当りの漁獲量は762kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ソウハチは平年の7割、アンコウ類は平年の2.5倍、ニギスは平年の1.5倍でした。その他、キダイは平年の2.4倍、マトウダイは平年の2.2倍、スルメイカは平年の1.1倍と好調でしたが、ムシガレイは平年の1.0倍、アカムツは平年の7割、アナゴ・ハモ類は平年の6割、ハタハタは平年の4割でした。

### 【定置網漁業】

出雲地区ではマアジ、ブリ、トビウオ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は29.3トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の1.6倍、ブリは平年の5割、トビウオ類は平年の1.2倍でした。石見地区ではマアジ、トビウオ類、ケンサキイカ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は15.6トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の9割、トビウオ類は平年の1.2倍、ケンサキイカは平年の6割でした。隠岐地区ではブリ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は50.0トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の1.1倍でした。

### 【釣・縄】

出雲地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は24.6kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の4割でした。石見地区ではイサキ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は19.8kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、イサキは平年の5.8倍でした。隠岐地区では、カサゴ・メバル類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は21.5kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、カサゴ・メバル類は平年の1.1倍でした。

【令和4年5月の漁獲統計】

※令和4年4月号から漁模様（◎、○、▲）の記載はありません。

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	マアジ、サバ類	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マイワシ、サバ類、マアジ	13,717トン	277%	195%	113トン	222%	200%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	21.0トン	82%	191%	269kg	88%	148%
	西郷	スルメイカ	11.4トン	759%	67%	147kg	301%	107%
沖合 底びき網	浜田	キダイ、アカムツ、マトウダイ	256トン	116%	112%	11.1トン	106%	92%
小型 底びき網	大田	ソウハチ、アンコウ類、ニギス	242トン	117%	99%	762kg	103%	104%
定置網 (大型)	出雲	マアジ、ブリ、トビウオ類	352トン	136%	90%	29.3トン	148%	97%
	石見	マアジ、トビウオ類、ケンサキイカ	62.4トン	129%	83%	15.6トン	96%	80%
	隠岐	ブリ	150トン	144%	105%	50.0トン	144%	105%
釣り・縄	出雲	ブリ	34.8トン	117%	66%	24.6kg	95%	85%
	石見	イサキ	25.3トン	141%	85%	19.8kg	122%	109%
	隠岐	カサゴ・メバル類	19.3トン	113%	70%	21.5kg	107%	80%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ